ロータリーでの活動経験を通 して学んだこと

Dembereldorj Bolortsetseg

Division of Pediatric Dentistry

Department of Oral Growth and Development

School of Dentistry

Health Sciences University of Hokkaido







• <mark>私の履歴</mark>

- モンゴル時代
 - 2009-2014年 モンゴル国立医科歯科大学 歯学部 在籍し、歯科医師免許を取得しました。
 - 2014-2015年 モンゴル ウランバートル最初プライベートデンタルクリニックPUREWJAW教授の元に師事
 - 2017-2018年 モンゴル 中央県 国立 総合病院 歯科医師



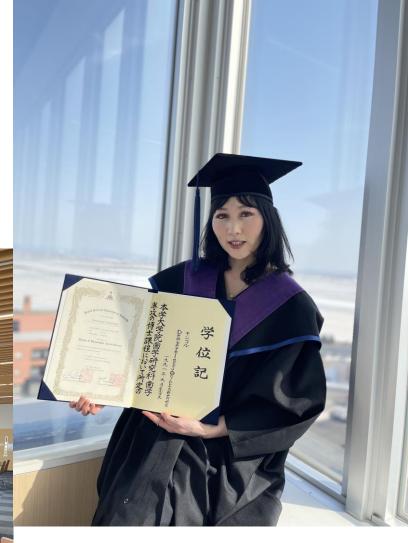




Rotary

- 日本時代
 - 2019-2023年 北海道医療大学 大学院歯学研究科 小児歯科 学分野 在籍
 - ・研究のタイトルは"歯胚発生時 のマラッセ上皮遺残細胞培養 上清の細胞外マトリックスタ ンパク質の影響"です。
 - 2021-2023年 国際ロータリー 米山奨学生 (国際ロータ リー第 2510 地区 Rotary International Disctict 2510)
 - 2023年3月19日 大学院修了 歯学博士取得







奨学生になる前の大学院生の2年間

- ・最初は、これからどのような生活になるのか楽しみでした。すぐに研究テーマをいただき、研究生活がはじまりましたが、実は経済的には大変でした。
- 最初の1、2年は生活費をモンゴルの両親から送金してもらっていたため、なるべく自炊をしていました。
- しかし、医局先生方や周りの友人たちが食事や旅行に連れて行ってもらっていたので大変助かりました。とてもありがたかったです。





ロータリー奨学生を目指して

- •大学院1年生の時、教授からロータリー奨学生を勧められ、2 年生の時、応募しました。
- 2年生の秋には大学内の選考に選ばれ、書類を提出し、12月に ロータリーの面接を受けました。その時、私の研究テーマ(歯エナメル質再生に関する研究)、私の過去の実績について 話しました。
- ・3年生になる前に無事奨学生になれることがわかりました。
- 合格通知証を受け取った時はこれで生活に余裕ができると思い、嬉しくて涙が出ました。





奨学生になってからの2年間

- ・組織として活発な札幌西ロータリークラブに 所属し、活動することになりました。卓話な ど色々な活動をしました。卓話は、国際理解 と文化交流のための物としてとても重要だと 思います。
- ・札幌西ロータリークラブは会員の皆様がとても温かく、信頼できる関係を築くことができました。様々な分野の人たちが所属していたので、私の視野もとても広がりました。
- ・この会を通して、米山奨学生としての使命と 役割を理解し、将来の方向性も明確になりま した。







クラブでの活動







- インプラントのデンタルクリニック も見学させていただきました。
- この2年間は、このようにとても充実した日々で、ロータリーアンの皆様のご親切に心から感謝を申し上げます。
- これらの宝物のような経験は今後の 私の心の糧になると思います。









ロータリーの活動を通して感じたこと

- ・米山奨学生になってから、たくさんのロータリアンと交流ができ、日本文化と日本社会の知識について深く知ることができ、とても有意義な期間だったと思います。
- 母国モンゴルと北海道での留学経験のことについて多くのロータリアンに紹介することができ、とても嬉しかったです。奨学生になっていなければこんなにも視野を広げることができませんでした。





最後に

- ・最後の例会では、私のクラブ終了式での素晴らしい映像を見て、とても感動いたしました。
- ・今まで皆様がいろいろな記念行事を私のためにしてくださった事に心から 感謝します。
- ロータリーの皆様の優しさに触れ、涙が溢れ出てしばらく止めることができませんでした。本当にありがとうございました。











将来

- ロータリー米山クラブは平和と国際理解の推進のために、日本だけでなく、世界中の国で様々な活動を行っています。
- ロータリアンの皆様は私たち奨学生の両親のような存在です。
- ・未来を担う若者たちのため、私たちを大切に育ててくださっているロータリアンの精神に私は深く感動いたしました。
- 石丸ガバナー様の講演を聞いて、将来自分もロータリアンになりたい気持ちが強くなりました。
- 私は自分の夢を叶えるために、日本に参りましたが、ロータリーでの活動を通して母国と日本との友情の橋をかけるために、これから精一杯頑張る所存です。





- ・奨学金制度は留学生の生活を支えてくれるものとして大変役に立っており、私もとても助かりました。
- ・ 人のために尽くす奉仕の精神を学びました。人への思いやりや感謝する気持ちは人としても重要だと感じました。
- 私は皆様の優しい心と笑顔を一生忘れずに、感動の気持ちを持って、生きていく所存です。









私の未来へ

- 私は日本へ留学を希望する若者たちの代表です。
- 新年度からは、仙台の歯科クリニックでアシスタントとして就職することになりました。今後、日本での歯科医師免許を取る事を目指しながら働き、優秀な歯科医師になろうと思います。







私の未来へ

- ・将来自分の力で日本とモンゴルの国際関係 に貢献し、文化と医療の発展に尽くそうと 思います。
- 皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ここで得られた友情と数々の記憶を心の中に深く刻んで、これからの人生を前向きに歩んでいきたいと思います。
- このような経験をさせていただき、本当に 幸せです。
- ・ありがとうございました。







ご清聴誠にありがとうございました。





